

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称
平成27年度第2回大分県立図書館協議会
- 2 開催日時
平成27年12月21日（月） 10時00分から12時00分まで
- 3 開催場所
大分県立図書館 特別会議室
- 4 出席者（10名中9名出席）
 - (1) 委員
安東委員、塩塚委員、宮町委員、今井委員、宮崎委員、富高委員、中村委員、佐藤委員、山田委員
 - (2) 事務局
小矢館長、大久保副館長、佐藤副館長兼学校・地域支援課長、後藤総務企画課長、佐藤サービス課長、千葉総務企画課主幹
- 5 公開、非公開の別
公開
- 6 傍聴人数
なし
- 7 議題及び結果
 - (1) 議題
ア 平成27年度事業実施状況について
イ 平成27年度大分県立図書館利用者満足度調査結果について
ウ 大分県立図書館重点目標達成状況について
エ 意見交換
 - (2) 結果
ア 事務局から報告 原案どおり了承された。
イ 事務局から報告 原案どおり了承された。
ウ 事務局から報告 原案どおり了承された。
エ 意見交換 県立図書館の課題や要望については、出来るもの、出来ないもの、検討を要するものと分けて、利用者満足度調査の結果も活かして取り組んでいきたい。今後も県民のみなさんのお役に立てるよう努力していく。
- 8 主な審議内容及び会議録の概要
 - (1) 平成27年度事業実施状況について
 - 子ども読書支援センターについて、11月末までで17件というのは少ない。自分も推進員であるが、今年度依頼の電話が全くなかった。これまで、こんなことはなかった。読み聞かせグループとの交流は、推進員のスキルを上げるためにも大変良かった。減少した要因についてどう捉えているか。
(事務局) 広報が十分でないことも考えられるが、やはり2年前から県費での旅費や謝金の負担がなくなったことなど予算面の部分が大きいかと思う。
 - 推進員は謝金が欲しいのではなく、活動しているグループと共に勉強をしていきたいと考えている。17件というのも、おそらく大分市や別府市など近隣からの依頼と思う。旅費の実費だけでもいいので、投げかけをしていただき、支援員の活動について背中を押してほしい。

(事務局) 派遣を依頼したいと思っている読み聞かせグループ等が、謝金や旅費の負担を心配して一步引いてしまうことがないよう、まずは希望を推進員に引き継ぐということを行って行きたい。

○ ポランの広場について、何人くらい参加して、どういう効果があったか教えていただきたい。

(事務局) 図書館は不特定多数の方が来館されるが、人目を気にする必要もなく、来館者と適度な距離も保たれることから、人付き合いが苦手な子供には、まずこういうところでコミュニケーション能力を高めることができる。

また、知的関心をくすぐる本が多数あり、自分の進路を考えていくこともできる。

さらに、読みきかせ等の活動により、人に喜んでもらうということで、自尊感情を高め、社会に出ていきやすくなるという効果も出ていると思われる。

○ 具体的な効果の数字があれば教えていただきたい。

(事務局) 平成25年度は中学校3年生6名、2年生2名が参加し、3年生は全員高校進学、2年生は少し学校に通えるようになった。平成26年度は中学3年生3名、2年生3名が参加し、3年生は全員高校に進学した。

○ 素晴らしい取り組みと思う。子供たちには保健室よりも図書館が馴染みやすいと思う。県立図書館だけではなく、公共図書館に拡げていければよいと思うが、そのようなお考えはあるか。

(事務局) スクールサービスデイもポランの広場も、あくまでモデルケースとして取り組んでおり、県下の市町村図書館で実施されることを目的としている。

スクールサービスデイは豊後高田で実施されたが、ポランの広場は難しい部分がある。来年度以降、市町村の学校と図書館で導入してもらえないかと努力しているところである。

○ 昨日、大分大学医学部で公開セミナーがあった。テーマは「不登校をいかに減らしていくか」。大分県は不登校の発生率が昨年全国一番、今年は6番で非常に高い。懷疑行動があるので、外に居心地のいい場所を見つけると戻りにくいという面がある。学校復帰のための学業支援を組めるとよいと思う。

(事務局) ポランの広場は、学校教育の一環として、県の教育センターが行っているもので、図書館は活動の場所を提供し、あくまで側面的支援をしている。教育活動の場を提供するというスタンスである。

○ 色々なことをされていてすごいなと感じているが、古典の日や公開講座等の参加者がわかるとよいと思う、

(事務局) 協議会資料の3pに古典の日推進講座や公開講座の数字を記載している。古典の日推進講座は、基調講演76名、5回の連続講座が171名、140名、120名、120名、101名の参加があった。

公開講座は、ストーリーテリング入門講座が延べ53名、調べ学習講座が24名、大分の世界農業遺産が120名、放送大学との年間6回の連携講座は、現在4回目まで終わっているが、延べ397名の参加となっている。

(2) 平成27年度大分県立図書館利用者満足度調査結果について

○ 選択肢を5択を3択にしたのは勇気のいることをされたと思う。評価が下がるのはわかっている。あとは、6割の人が満足しているということはどうとらえるか。

○ 県立図書館は蔵書の状況等とても秀でていると思う。ホルトホールはアクセスがいいので、ちょっと寄ろうかとなる。図書館は利用者数ではないと思っている。今後も資料の充実等目指して行っていただきたい。

○ 佐伯に住んでいるので、アンケートに答えることはないが、佐伯市立図書館を通じて県立図書館の本を借りている。そのように、遠方にいて来館していないありがたいが

ている人も多い。そういった人の声も聴いていただけたらと思う。

(事務局) 前回平成25年の調査では、遠隔地でもアンケートをとった。隔年で行っているので、次回の調査時には再度検討したい。県内は市町村図書館を通じて、全て県の負担でお届けしている。また、郵送費を半分負担していただければ、日本中の図書館からも取り寄せることができる。ぜひ、ご利用していただきたい。

○ 11月頃、新潮社社長から、全国の図書館へ「貸し出し猶予」を求めるといった話があったが、この対応について伺いたい。

(事務局) 個々に話は聞いているが、県立図書館全体としては、まだ話をしていない。個人的には、できるだけ最新の本を県民に提供できたらと思う。

○ 2020年から入試が変わっていくのを受けて、高校でもアクティブラーニングを進めている。その際、県立図書館にお願いして色々な本を届けていただいた。また、県立図書館にないものは、岡山県立から取り寄せていただいたりして大変助かった。

今後も学校への貸し出しや本の紹介、学校で手に負えない課題解決事案への力添えをお願いしたい。

(事務局) 県立学校へはOLIBへの登録により、ネットワークを利用して県立図書館の資料を検索・予約することができ、予約された資料は、県の費用で学校へ直接配送している。利用の多い学校、少ない学校があるので、今後も広報していこうと考えている。調べ学習にあたって、ぜひ活用願いたい。

○ 障がい者の声はどのように拾い上げているのか、アンケートに反映されているのか教えていただきたい。

(事務局) 障がい者向け宅配サービスについては、14ページに統計をあげている。これに関しては、郵送料は無料となっている。また、対面朗読室を利用して、ボランティアの方から読書支援を受けている方もおられるが、これまでのところ、障がいがある方からの要望は特段あがってきていない。

来年四月から、障害者差別解消法が施行されるにことに合わせて、県立図書館でもサービスのチェックを始めたところである。障がい者支援については、今後の大きな課題ととらえている。昨年からデジジー図書も購入しているが、利用体制の構築が課題となっている。障がい者支援の充実については、課題として取り組んでいきたい。

(3) 大分県立図書館重点目標達成状況について

○ 全体的に目標とする数値を前年度より高くしており、積極的な姿勢を持たれているのだと思う。ただ、児童書の貸出冊数については、子供は広域的に来るのは考えにくいことから、ホルトホールができて、児童書が充実されたことを考えると、数値目標は少し下がるのではないかと思うがどうか。

(事務局) 14ページに年間統計をつけているが、今年度10月時点の同時期比で、前年と比べて90%、同月比でも約1割減となっている。冬期は入館者が減少することが予想され、このまま推移した場合は目標達成できない可能性もあるかと思う。

○ 児童書の貸し出し冊数は減っているが、調査の数は増えている。これはどのようにとらえているか。

(事務局) 児童カウンターでのレファレンスの主なものは、読み聞かせに関わっている方からのどんな本が良いのだろうかという問い合わせで、その他は、子供からの人気本の問い合わせである。読書案内が主という状況である。

○ 良い本を選ぶことが、ボランティアの人にとっての一番の悩みであり、そういった読書案内に関する情報提供や講座を市町村図書館でも開いていただけるとありがたい。

(事務局) 県立図書館で作成した年齢別のブックリストを児童室においているので、それを見ながら、相談に来られることも多いようである。

(4) 意見交換

○ とても勉強になった。子供たちやPTAに、県立図書館が取り組まれている内容を広

報誌などを使って発信していきたいと感じた。

また、読み聞かせをしていたころに団体貸し出しを利用して思ったことであるが、教科書に載っている本を学年別に並べたコーナーを設けていただくと保護者が活用しやすいと思った。

カウンター委託業者の引継が円滑に行われたということであるが、カウンター委託業者は、3年ごとに変わっていくのか教えていただきたい。今年変わったことが気づかないくらい円滑に運営されていた。その辺について伺いたい。

(事務局) 教科書に載っている本については、現在まとめていないが、今後検討していきたい。

貸出し・返却等のカウンター業務委託については、これまで一般競争入札をおこなってきたが、いろいろな問題が出てきたため、今年から、プレゼンテーションを含んだ審査方法を取り入れた。

会社の運営方針やサービス内容、業務実績など総合的な観点から、外部の方を中心に構成する委員会で審査してもらった。

○ 少年鑑別所に行ったときに、置いてある本が県図書の本と聞いた。そういった取り組みは今も続いているのか。

また、読み聞かせも0歳からの読み聞かせがあり、すごいなと思ったが、マタニティの方向けの読み聞かせは考えているか。

(事務局) 鑑別所への貸し出しは、団体貸し出しという形で行っている。県立病院にも利用いただいている。

マタニティについては、「プレママ、プレパパのためのおはなし会」という、お母さんだけでなく、お父さんも対象に行っている。

県立図書館の運営等においては、まだまだ課題があり、要望もある。出来るもの、出来ないもの、検討を要するものと分けて、アンケート調査の結果も活かして取り組んでいきたい。

また、鑑別所については、団体貸し出し以外に、除籍資料の無償譲渡も行っている。矯正施設の図書予算は少ないということで、刑務所にも行っている。

今後も県民のみなさんのお役に立てるよう努力していきたい。

9 会議の資料名一覧

(1) 平成27年度第2回大分県立図書館協議会資料

ア 平成27年度事業実施状況

イ 大分県立図書館でこんなこともしています！(平成27年度事業概要)

ウ 平成27年度大分県立図書館利用者満足度調査結果について

エ 大分県立図書館重点目標の達成状況

(参考資料)

① 平成27年度基本方針及び重点目標

② 大分県立図書館長期計画

③ 県内公共図書館状況一覧

④ 都道府県立図書館比較(平成26年度実績等より)

⑤ 平成27年度県立図書館年間統計

⑥ 大分県立図書館利用者満足度調査結果報告(ダイジェスト版)

⑦ 大分県立図書館利用者満足度調査業務委託報告書

(2) 平成27年度第2回大分県立図書館協議会参考資料(当日資料)

・平成27年9月～12月実施事業関係チラシ等

10 問い合わせ先

担当課 大分県立図書館総務企画課

電話番号 097-546-9977